

## 2009年度 工学研究科デザイン科学専攻(デザイン科学) 授業科目一覧表

| 授業コード     | 授業科目名                 | 単位数 | 開講時限等            | 担当教員                                | 頁    |
|-----------|-----------------------|-----|------------------|-------------------------------------|------|
| T20300101 | デザイン・インタラクティブ1        | 2.0 | 前期月曜4限           | 勝浦 哲夫 <sup>他</sup>                  | 前デ2  |
| T20300201 | デザイン・インタラクティブ2        | 2.0 | 前期水曜5限           | 青木 弘行 <sup>他</sup>                  | 前デ2  |
| T20300301 | デザイン・インタラクティブ3        | 2.0 | 後期月曜3限           | 鈴木 直人 <sup>他</sup>                  | 前デ3  |
| T20300401 | 人間・生活環境論              | 2.0 | 後期月曜5限           | 勝浦 哲夫 <sup>他</sup>                  | 前デ4  |
| T20300501 | 材料計画論                 | 2.0 | 前期水曜4限           | 青木 弘行 <sup>他</sup>                  | 前デ5  |
| T20300601 | デザイン心理学               | 2.0 | 後期金曜3限           | 日比野 治雄 <sup>他</sup>                 | 前デ6  |
| T20300701 | 人工物デザイン論              | 2.0 | 後期木曜4限<br>後期土曜2限 | 鈴木 直人 <sup>他</sup>                  | 前デ7  |
| T20300801 | 文化計画論                 | 2.0 | 前期月曜3限           | 鈴木 直人 <sup>他</sup>                  | 前デ7  |
| T20300901 | プロダクトデザイン計画論          | 2.0 | 前期月曜1限           | 渡邊 誠 <sup>他</sup>                   | 前デ7  |
| T20301001 | 生活環境デザイン論             | 2.0 | 前期金曜3限           | 佐藤 公信 <sup>他</sup>                  | 前デ8  |
| T20301101 | メディアデザイン論             | 2.0 | 後期水曜2限           | 玉垣 庸一 <sup>他</sup>                  | 前デ9  |
| T20301201 | エコデザイン論1              | 2.0 | 前期金曜2限           | UEDA EDILSON<br>SHINDI <sup>他</sup> | 前デ9  |
| T20301301 | ケアデザイン論               | 2.0 | 後期月曜4限           | 下村 義弘 <sup>他</sup>                  | 前デ10 |
| T20301401 | 異なるデザイン領域習得プログラム      | 2.0 | 通期集中             | 各教員                                 | 前デ11 |
| T20301901 | 海外大学アライアンスプログラム       | 2.0 | 通期集中             | 各教員                                 | 前デ11 |
| T20302001 | デザイン・インターンシップ・プログラム   | 2.0 | 通期集中             | 渡邊 誠 <sup>他</sup>                   | 前デ12 |
| T20302101 | 産学連携デザイン・プロジェクト・ワーク   | 2.0 | 通期集中             | 各教員                                 | 前デ12 |
| T20399801 | 特別演習I(デザイン科学)         | 4.0 | 通期集中             | 各教員                                 | 前デ13 |
| T20399901 | 特別研究I(デザイン科学)         | 6.0 | 通期集中             | 各教員                                 | 前デ13 |
| T20000101 | ベンチャービジネス論            | 2.0 | 前期水曜5限           | 斎藤 恭一 <sup>他</sup>                  | 前デ13 |
| T20000201 | ベンチャービジネスマネジメント       | 2.0 | 後期水曜5限           | 加納 博文 <sup>他</sup>                  | 前デ14 |
| T20000301 | 技術者倫理                 | 2.0 | 後期金曜5限           | (滝口 孝一)                             | 前デ15 |
| T20302201 | サービス・デザイン論            | 2.0 | 前期木曜4限           | (石塚 明彦)                             | 前デ15 |
| T20302301 | デザイン・エンジニアリング論        | 2.0 | 後期水曜4限           | (岩政 隆一)                             | 前デ16 |
| T20302401 | サービス・デザイン演習           | 2.0 | 前期木曜5限           | (石塚 明彦)                             | 前デ16 |
| T20302501 | デザイン・エンジニアリング演習       | 2.0 | 後期水曜5限           | (岩政 隆一)                             | 前デ16 |
| T20302601 | ヒューマンインタフェース特論        | 2.0 | 前期月曜5限           | 岩永 光一                               | 前デ17 |
| T20302701 | サービス・デザイン・ストラテジー      | 2.0 | 前期金曜4限           | (池内 茂彦)                             | 前デ17 |
| T20302801 | デザイン・ソリューション・プランニング   | 2.0 | 後期火曜3限           | (小畑 貢)                              | 前デ18 |
| T20302901 | サービス・デザイン・ストラテジー演習    | 2.0 | 前期金曜5限           | (池内 茂彦)                             | 前デ18 |
| T20303001 | デザイン・ソリューション・プランニング演習 | 2.0 | 後期火曜4限           | (小畑 貢)                              | 前デ18 |

授業科目名：デザイン・インタラクティブ 1  
 科目英訳名：Design Interactive 1  
 担当教員：勝浦 哲夫, 日比野 治雄, 樋口 孝之, 下村 義弘, 小山 慎一  
 単位数：2.0 単位 開講時限等：前期月曜 4 限  
 授業コード：T20300101 講義室：工 2 号棟 102 教室, 工 2 号棟 103 教室

## 科目区分

2009 年入学生：必修科目 S10 ( T221:工学研究科デザイン科学コース (前期))

[授業の方法] 講義・演習

[受入人数] 60 名程度

[授業概要] 修士論文での研究に必須の文献調査の基礎について、実践的に文献調査を行いながら体得する。

[目的・目標] 広義での「人間」に関わる問題を扱っている学術論文を検索・収集し、それらの知見をまとめるという作業を通じ、それら先行研究論文の独自性と意義、目的、解決すべき問題点とその方策について考察する。それによって、修士論文テーマについての予備的な文献調査の方法を実践的に体得する。

[授業計画・授業内容] 修士論文テーマの予備的な文献調査を体系的に行う。各自の修士課程での研究テーマに関連したこれまでの研究論文を検索・収集し、それらの知見をまとめ、各研究の独自性と意義、目的、解決すべき問題点とその方策について考察してゆく。

1. はじめに：授業内容の説明と予定について (無線 LAN に接続可能なノート PC を持参すること)
2. 文献検索の方法と手段について (1)
3. 文献検索の方法と手段について (2)
4. 講読する論文についてのアドバイス
5. 講読する論文の決定とリスト作成
6. 論文 1 についてのレポート作成・提出
7. 論文 2 についてのレポート作成・提出
8. 論文 3 についてのレポート作成・提出
9. 論文 4 についてのレポート作成・提出
10. 論文 5 についてのレポート作成・提出
11. 論文 6 についてのレポート作成・提出
12. 論文 7 についてのレポート作成・提出
13. 総合レポート作成について
14. 総合レポート提出およびポスター発表会の準備
15. ポスター展示による最終報告会

[キーワード] デザイン科学, 文献検索, 人間工学, デザイン心理学, 材料計画

[教科書・参考書] 特にない。

[評価方法・基準] 課題に関するレポートおよび最終報告会によって成績を評価する。

[関連科目] 人間-生活環境論, デザイン心理学, 材料計画論

[履修要件] 特にない。

[備考] 無線 LAN に接続可能なノート PC を持参すること。

授業科目名：デザイン・インタラクティブ 2  
 科目英訳名：Design Interactive 2  
 担当教員：青木 弘行, 岩永 光一, 寺内 文雄, 田内 隆利  
 単位数：2.0 単位 開講時限等：前期水曜 5 限  
 授業コード：T20300201 講義室：工 2 号棟 102 教室, 工 2 号棟 103 教室

## 科目区分

2009 年入学生：必修科目 S10 ( T221:工学研究科デザイン科学コース (前期))

[授業の方法] 講義・演習

[受入人数] 60 名程度

[授業概要] 材料計画とヒューマンインタフェースに関連した検討課題を探索し、両専門領域を横断化する観点からデザインのあり方、あるべき姿を検討する。そして、得られた知見を基盤として具体的なデザイン作業を展開し、理論と実践に関わる基礎的素養を体得する。

[目的・目標] デザインにおける問題発見能力と問題解決能力の獲得をめざして、インタラクティブにおける視点設定やデザイン展開における方法論を修得する。

[授業計画・授業内容]

1. テーマ設定 (1)
2. テーマ設定 (2)
3. 問題点の発掘 (1)
4. 問題点の発掘 (2)
5. 問題解決のための視点設定 (1)
6. 問題解決のための視点設定 (2)
7. 中間報告会
8. 問題解決作業 (1)
9. 問題解決作業 (2)
10. 問題解決作業 (3)
11. 中間報告会
12. 検証作業 (1)
13. 検証作業 (2)
14. 検証作業 (3)
15. 最終報告会

[キーワード] デザイン科学, 材料計画, インタフェース

[教科書・参考書] 特になし

[評価方法・基準] 課題に対する検討内容と報告会の内容、デザイン提案の完成度によって評価する (提出期限厳守)。  
4/5 以上の出席が必要。

[関連科目] 材料計画論, 人間-生活環境論, デザイン心理学

[履修要件] 特になし

[備考] 5 名程度のグループで作業を行い、優れた成果物に対しては、学外での展示と知的財産権獲得をめざす。

T20300301

授業科目名: デザイン・インタラクティブ 3

科目英訳名: Design Interactive 3

担当教員: 鈴木 直人, 久保 光徳, 桐谷 佳恵, 植田 憲, 田内 隆利

単位数: 2.0 単位

開講時限等: 後期月曜 3 限

授業コード: T20300301

講義室: 工 2 号棟 103 教室

科目区分

2009 年入学生: 必修科目 S10 (T221:工学研究科デザイン科学コース (前期))

[授業の方法] 講義・演習

[授業概要] ひとつの価値観の普遍化による潜在的な危険性を抱えるグローバリゼーションの過程で、私たちの社会は大きな変化に直面しています。その社会的変化を多面的に認知し、望ましい目標に向かう行動を計画するデザインプロセスの方法論をコミュニケーションデザイン、意匠形態学、デザイン文化計画の視点から横断的に講述します。そして、得られた知見に基づき、心理学、意匠形態学、および、地域振興の領域がグローバリゼーションとそれぞれ深く関係するデザインの関数・機能を考慮しつつ具体的なデザイン研究を行い、その基礎的素養を体得します。

[目的・目標] グローバリゼーションの過程で私たちの社会は大きな変化に直面しています。その社会的変化を多面的に認知し、望ましい目標に向かう行動を計画するデザインプロセスの方法論を多角的な視点から横断的に講述します。そのようにして得られた知見に基づき、特に材料計画、コミュニケーションデザイン、デザイン文化計画の領域がグローバリゼーションの中で、定められた目標を達成するための機能を考慮しつつ具体的なデザイン研究・デザイン展開をどのように行うのかについて、その基礎的素養を体得することを目標とします。

## [授業計画・授業内容]

1. グローバリゼーションのインパクトを多面的に理解する。特に、1) 環境保全、2) 文化に及ぼす正と負のインパクトに関し理解を深める。青森県つがる市稲垣地区の薫、および、愛知県常滑市の陶器に関する事例検証から「循環型社会形成」と「ものづくり文化」の継承のありかたを学ぶ。
2. グローバリゼーションのインパクトを多面的に理解する。特に、1) 環境保全、2) 文化に及ぼす正と負のインパクトに関し理解を深める。青森県つがる市稲垣地区の薫、および、愛知県常滑市の陶器に関する事例検証から「循環型社会形成」と「ものづくり文化」の継承のありかたを学ぶ。
3. グローバリゼーションにおいて「自然との共生」と「地域文化の継承」が抱える問題の原因と影響を目的指向型問題分析手法 (OOPP) を用いて分析することにより明確に理解する。
4. グローバリゼーションにおいて「自然との共生」と「地域文化の継承」が抱える問題の原因と影響を目的指向型問題分析手法 (OOPP) を用いて分析することにより明確に理解する。
5. グローバリゼーションにおいて「自然との共生」と「地域文化の継承」が抱える問題の原因と影響を目的指向型問題分析手法 (OOPP) を用いて分析することにより明確に理解する。
6. 常滑陶器文化の継承を廃物利用の実践と地域アイデンティティーの継承の視点から分析した事例を通し、「環境は管理するものではない」という意味と「地域アイデンティティーの確立の重要性」を学ぶ。
7. 常滑陶器文化の継承を廃物利用の実践と地域アイデンティティーの継承の視点から分析した事例を通し、「環境は管理するものではない」という意味と「地域アイデンティティーの確立の重要性」を学ぶ。
8. 「自然との共生」と「地域文化の継承」における意匠形態学的アプローチ ・身の回りにある人の手による自然な形 (前もって各学生は一事例を画像にて準備) ・自分の手で物を作りだすことの意味
9. 「自然との共生」と「地域文化の継承」における意匠形態学的アプローチ ・身の回りにある人の手による自然な形 (前もって各学生は一事例を画像にて準備) ・自分の手で物を作りだすことの意味
10. 調査法に関する講義: データ収集の方法のうち、主に調査法に関して特徴や実施の際の注意点などを学ぶ。
11. 質問紙作成 (グループ作業): 毎日に調査に使う質問紙の作成を行う。調査の目的 (何を明らかにするつもりか) を設定し、その目的のためにどのように質問項目を設けるかをディスカッションする。次回授業までに、作成した質問紙を使って実際に調査を行い、結果をまとめておく。
12. 予備調査結果発表 (プレゼン): 調査の目的、設定した質問項目、得られた調査結果を受けて、設定した項目をどう改善すべきかを発表する。
13. 質問紙再構成 (グループ作業): 質問紙最終版作成に向けて作業を行う。なお、班毎個別に質問時間を設けるので、適宜教員の指示を受けること。
14. 調査 (グループ作業): 最終プレゼンに向けて本調査を行う。ただし、この授業時間内に行わずともよい。必要があれば、教員からの指示は個別に受けること。
15. グループ発表と総括

[キーワード] Interactive, Globalization, Design Culture-Moushiwakenai/Mottainai, Design Morphology, Communicative Relationship

[評価方法・基準] 出席、授業態度、最終日のグループ発表の評価に基づき、総合的に評価します。欠席が4回以上の場合、原則として単位は与えません。また、授業開始後30分以上遅刻した場合、原則として、その回は出席と認めません。

T20300401

|  |                    |
|--|--------------------|
| 授業科目名: 人間 - 生活環境論                      |                    |
| 科目英訳名: Human-Living Environment System |                    |
| 担当教員: 勝浦 哲夫, 下村 義弘                     |                    |
| 単位数: 2.0 単位                            | 開講時限等: 後期月曜 5 限    |
| 授業コード: T20300401                       | 講義室: 工 2 号棟 101 教室 |

## 科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 (T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期))

[授業の方法] 講義・発表

[授業概要] 人間の生活環境は、温度、光、音、匂いなどの物理的要素のみならず、さまざまな道具や機器などの人工物要素から構成されている。快適で健康な生活環境を構成するためには、これらの環境要素に対する人間の適応能に関する理解と考究が必須である。本授業では、人間の環境適応能に関する理解を深めるために、これまでの研究成果を解説し、更なる問題点とその解決のための研究方法論について考察する。

[目的・目標] 人間の環境適応能に関する理解にたった生活環境のあり方について考究しうる基本的な能力の獲得を目指す。具体的には、これまでの研究の内容およびその問題点を理解できる能力、生活環境が人間に及ぼす影響について問題を設定し、それを解決するための研究計画を立案できる能力、人間 - 環境系について総合的に考察できる能力の修得を目標とする。

[授業計画・授業内容]

1. 環境に対する生理的適応
2. 物理的環境要素に対する適応能 - 温熱環境 1
3. 物理的環境要素に対する適応能 - 温熱環境 2
4. 物理的環境要素に対する適応能 - 光環境
5. 物理的環境要素に対する適応能 - 音環境
6. 環境に対する文化的適応
7. 技術文明とテクノストレス
8. 技術に対する適応能 - テクノアダプタビリティ 1
9. 技術に対する適応能 - テクノアダプタビリティ 2
10. 近未来の生活技術と人間の適応能
11. 環境に対する道具的適応
12. 適応を支援する人工環境 - 人工的な環境の制御
13. 適応を支援する人工環境 - 道具による生活支援 1
14. 適応を支援する人工環境 - 道具による生活支援 2
15. 期末試験

[教科書・参考書] 特になし。授業中に指示する。

[評価方法・基準] 出席、レポート、期末試験の成績を総合的に判定する。

T20300501

|   |   |
|---|---|
| 授業科目名： 材料計画論<br>科目英訳名： Theory of Materials Planning<br>担当教員： 青木 弘行, 久保 光徳, 田内 隆利<br>単位数： 2.0 単位<br>授業コード： T20300501 | 開講時限等： 前期水曜 4 限<br>講義室： 工 1 号棟 310 意匠系会議室 |
|---|---|

科目区分

2009 年入学生： 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期) )

[授業の方法] 講義・発表

[受入人数] 60 名程度

[授業概要] 材料 / 構造とデザインに関する革新的事例を取り上げ、形の構造と数理との関係、材料が有する固有特性・属性とデザインとの関係を材料計画の視点に立脚して考究する。具体的には、形の数理・科学や革新的デザイン事例を紹介する書籍を取り上げ、その開発状況や今後の動向についてセミナー形式で検討する。

[目的・目標] デザインにおける材料関連問題に対して、総合的視点から適切に対処し得る能力を養う。

[授業計画・授業内容]

1. 形の構造・数理に関する発表と講述 (1)
2. 形の構造・数理に関する発表と講述 (2)
3. 形の構造・数理に関する発表と講述 (3)
4. 形の科学に関する発表と講述 (1)

5. 形の科学に関する発表と講述 (2)
6. 形の科学に関する発表と講述 (3)
7. まとめ (形に対する解釈)
8. 革新的デザイン事例に関する発表と講述 (1)
9. 革新的デザイン事例に関する発表と講述 (2)
10. 革新的デザイン事例に関する発表と講述 (3)
11. 革新的デザイン事例に関する発表と講述 (4)
12. 革新的デザイン事例に関する発表と講述 (5)
13. 革新的デザイン事例に関する発表と講述 (6)
14. まとめ (イノベーションに対する考え方)
15. テスト

[キーワード] デザイン科学, 材料計画, 形, イノベーション

[教科書・参考書] Innovation in Design and Materials / 「工業デザインのための材料知識」, 岩井, 青木著, 日刊工業新聞社

[評価方法・基準] 担当課題に対する提出物と発表内容によって評価する。4/5 以上の出席が必要。

[関連科目] デザイン・インタラクティブ 1、2、3

[履修要件] 特になし

T20300601

授業科目名: デザイン心理学

科目英訳名: Design Psychology

担当教員: 日比野 治雄, 寺内 文雄, 小山 慎一

単位数: 2.0 単位

開講時限等: 後期金曜 3 限

授業コード: T20300601

講義室: 工 1 号棟 310 意匠系会議室

#### 科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期) )

[授業の方法] 講義・発表

[受入人数] 20 名程度

[授業概要] 心理学の領域における知見を応用し、心理学的視点からデザインに関連した諸問題について考察するのがデザイン心理学 (design psychology) である。本科目では、特に色彩知覚、触覚、嗅覚等の人間の知覚に関連したデザインにおける様々な問題を取り上げる。

[目的・目標] デザイン研究における新しい領域であるデザイン心理学に対する理解を深める。特に、デザインに関わる諸問題を考察する場合に重要な要素である人間の知覚特性について多角的に考える。

[授業計画・授業内容] 人間にとってよりよいデザインを実現するためには人間の知覚特性に対する正しい理解が必要である。そのため、本科目では、特に色彩知覚、触覚、嗅覚等の問題を取り上げ、デザインとの関わりについて検討を加える。

1. はじめに: 授業内容の説明と予定について
2. 色彩に関連した問題 (1)
3. 色彩に関連した問題 (2)
4. 色彩に関連した問題 (3)
5. 色彩に関連した問題 (4)
6. 色彩に関連した問題 (5)
7. 色彩に関連した問題 (6)
8. 色彩に関連した問題 (7)
9. 触覚・嗅覚に関連した問題 (1)
10. 触覚・嗅覚に関連した問題 (2)

11. 触覚・嗅覚に関連した問題 ( 3 )
12. 触覚・嗅覚に関連した問題 ( 4 )
13. 触覚・嗅覚に関連した問題 ( 5 )
14. 触覚・嗅覚に関連した問題 ( 6 )
15. 触覚・嗅覚に関連した問題 ( 7 )

[キーワード] デザイン心理学, デザイン評価, 色彩知覚, 触覚, 嗅覚

[教科書・参考書] 最初のガイダンスにおいて指示する。

[評価方法・基準] 出席 : 30 % ; ミニレポート : 30 % ; 発表 40 %

[関連科目] デザイン・インタラクティブ 1

[履修要件] 特にない。

T20300701

授業科目名 : 人工物デザイン論

科目英訳名 : History of Design Culture

担当教員 : 鈴木 直人, 植田 憲, 樋口 孝之, (丸岡 隆之), (原田 雅美), (國澤 好衛), (斎藤 共永), (木田 健一), (大澤 浩一), (田中 義信), (吉武 良治), (菅居 康至), (西本 豊弘)

単位数 : 2.0 単位

開講時限等: 後期木曜 4 限 / 後期土曜 2 限

授業コード : T20300701, T20300702

講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期) )

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T20300801

授業科目名 : 文化計画論

科目英訳名 : Design Culture

担当教員 : 鈴木 直人, 植田 憲, 樋口 孝之

単位数 : 2.0 単位

開講時限等: 前期月曜 3 限

授業コード : T20300801

講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期) )

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T20300901

授業科目名 : プロダクトデザイン計画論

科目英訳名 : Design Planning

担当教員 : 渡邊 誠, 小野 健太, 八馬 智

単位数 : 2.0 単位

開講時限等: 前期月曜 1 限

授業コード : T20300901

講義室 : 工 1 号棟 310 意匠系会議室

科目区分

2009年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期))

[授業の方法] 講義

[受入人数] 30

[受講対象] 学部他学科生 履修可

[授業概要] 産業製品のデザインのプロセス・システムの現状を講義し、今後のその課題と、将来の在り方を討議する。

[目的・目標] 貿易立国日本の産業状況とデザインの現状をを講義し今後のデザインの方法論、すすむべき方向をデスクッションする。21世紀はコンセプトの時代とされている。産業デザインの新しいコンセプトと受講者の具体的なテーマについて討議する。

[授業計画・授業内容] 前半8回を釜池、後半を渡邊・小野先生が担当する

1. ガイダンス・デザインの定義とフレームワークレポート宿題
2. デザインの定義とフレームワーク各人レポート発表と宿題
3. インハウスデザインの現状開発プロセスー自動車デザインを事例として
4. デザインマネージメント自動車デザインの管理実践
5. デザインの将来・コンセプトの時代への対応レポート宿題
6. デザインの将来・コンセプトの時代への対応各人レポート発表と宿題(釜池・討議)
7. デザインの哲学と方法論 先端科学と東洋哲学レポート宿題
8. デザインの課題各人レポート発表と宿題
9. デザインシステム渡邊・小野先生
10. 渡邊・小野先生(検討中)
11. 同上
- 12.
- 13.
14. 同上
15. 渡邊・小野先生(検討中)

[キーワード] 製品デザイン、デザインシステム、コンセプト

[教科書・参考書] パワーポイント

[評価方法・基準] レポート・出席点

T20301001

授業科目名: 生活環境デザイン論

科目英訳名: Theory of Living Environmental Design

担当教員: 佐藤 公信, 原 寛道

単位数: 2.0 単位

開講時限等: 前期金曜 3 限

授業コード: T20301001

講義室: 工 1 号棟 3 階視聴覚教室

科目区分

2009年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期))

[授業の方法] 講義

[授業概要] 人間が作り出した環境の中で、人間はモノや空間を仲立ちとして、どのように自分や他人との関わりを感じ、どのように行動しているのだろうか。環境における人間の行動や心理を通じて、望ましい生活環境のデザインのあり方について、事例に基づき、具体的な調査・分析方法を用いながら、考察してゆく。

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[キーワード] Human behavior, man made environment, environmental psychology

[評価方法・基準]

T20301101

授業科目名 : メディアデザイン論

科目英訳名 : Theory of Media Design

担当教員 : 玉垣 庸一, 桐谷 佳恵

単位数 : 2.0 単位

開講時限等: 後期水曜 2 限

授業コード : T20301101

講義室 : 工 1 号棟 310 意匠系会議室

科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期))

[授業の方法] 講義

[受講対象] 自学部他学科生 履修可

[目的・目標] さまざまなコミュニケーションメディアにおける表現とメッセージのかかわりについて、種々の視点から論じるのがメディアデザイン論である。ここでは、表現技術論的視点、心理学的視点に立って、メディアデザインの諸問題を考察し、研究方法についても学ぶ。

[授業計画・授業内容]

1. ガイダンス
2. 色のコミュニケーション
3. 記号体系としての表色系
4. 色情報の伝達技術 1
5. 色情報の伝達技術 2
6. 色情報の伝達技術 3
7. 色情報の伝達技術 4
8. 再現性の評価
9. クロス集計, コレスポネンス分析
10. 重回帰分析, 数量化理論 I 類
11. 判別分析, 数量化理論 II 類
12. 主成分分析
13. 因子分析, 数量化理論 III 類, クラスタ分析
14. 調査
15. 発表

[キーワード] Visualization, communication design, communication media, design psychology

[教科書・参考書] 授業内で適宜指示する。

[評価方法・基準] レポートと発表で評価し、60 点以上を合格とする。

T20301201

授業科目名 : エコデザイン論 1

科目英訳名 : Ecodesign 1

担当教員 : UEDA EDILSON SHINDI, 木下 剛

単位数 : 2.0 単位

開講時限等: 前期金曜 2 限

授業コード : T20301201

講義室 : 工 2 号棟 102 教室

科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期))

[授業の方法] 講義・発表

[受入人数] 20 名程度

[授業概要] 前半は、性能を確保しながら環境を配慮した製品デザインの方向について論述し、既存製品の調査分析をもとに、環境と調和する製品開発の条件や方法を検討する。後半は、環境負荷の低減や生物多様性、物質循環に配慮した環境デザインの考え方と手法について、多様な空間スケールにおける事例を通して講述する。

[目的・目標] 前半は、エコプロダクトとそれを維持するためのサービスシステム等革新的な環境調和ビジネスやライフサイクル理論に基づいた国内、国際的な視点からの今後のデザイン課題やその解決ビジョン等について論述する。後半は、都市スケールでのエコロジカルネットワークや風の道の形成、土壌・水質汚染地帯での環境再生の考え方、生態工学に基づく環境デザインの手法等について理解する。

[授業計画・授業内容]

1. はじめに：授業内容の説明と予定について
2. サステナブルデザインとエコプロダクト (1)
3. サステナブルデザインとエコプロダクト (2)
4. サステナブルデザインとエコプロダクト (3)
5. サステナブルデザインとエコプロダクト (4)
6. サステナブルデザインとエコプロダクト (5)
7. サステナブルデザインとエコプロダクト (6)
8. サステナブルデザインとエコプロダクト (7)
9. 生態工学に基づく環境デザイン (1)
10. 生態工学に基づく環境デザイン (2)
11. 生態工学に基づく環境デザイン (3)
12. 生態工学に基づく環境デザイン (4)
13. 生態工学に基づく環境デザイン (5)
14. 生態工学に基づく環境デザイン (6)
15. 生態工学に基づく環境デザイン (7)

[キーワード] サステナブルデザイン、エコプロダクト、ランドスケープデザイン、エコロジカルプランニング

[評価方法・基準] 出席：40 %、レポート 20 %、テスト 40 %

T20301301

授業科目名： ケアデザイン論

科目英訳名： Theory of Care Design

担当教員： 下村 義弘, 岩崎 寛, (三宅 徳久)

単位数： 2.0 単位

開講時限等: 後期月曜 4 限

授業コード： T20301301

講義室： 工 2 号棟 101 教室

科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期))

[授業の方法] 講義

[受入人数] 100 名

[受講対象] 本学大学院学生

[授業概要] 高齢社会を迎え、生活弱者に対する配慮は益々必要になってきている。ケアデザイン論では、園芸学、デザイン科学の観点から生活弱者を支援するための環境やモノのデザインのあり方について講義する。

[目的・目標] 高齢者などの生活弱者を支援するために必要な人間科学の知識について、園芸学、デザイン科学の観点から講義し、生活弱者を支援するための環境やモノのあり方を学ぶ。

[授業計画・授業内容]

1. ケアデザインと人間工学
2. 生活弱者と温熱環境
3. 生活弱者と光環境
4. 生活弱者と住環境
5. 生活弱者と生体リズム
6. 生活弱者を支援する機器&#8722;1
7. 生活弱者を支援する機器&#8722;2
8. 公共緑地におけるケアデザイン
9. 植栽の現場でのケアデザイン-1
10. 植栽の現場でのケアデザイン-2
11. 植栽の現場でのケアデザイン-3
12. 海外におけるケアデザイン
13. パターンランゲージを用いたケアデザインの提案-1
14. パターンランゲージを用いたケアデザインの提案-2

[キーワード] Horticultural therapy, Universal design, Ergonomic design, Welfare device

[評価方法・基準] 中間試験, 期末試験を実施し, その得点で評価する。

T20301401

|   |             |
|---|-------------|
| 授業科目名: 異なるデザイン領域習得プログラム                   |             |
| 科目英訳名: Design Cross-Fertilization Program |             |
| 担当教員: 各教員                                 |             |
| 単位数: 2.0 単位                               | 開講時限等: 通期集中 |
| 授業コード: T20301401                          | 講義室:        |

科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期) )

[授業の方法] 講義

[受入人数] 50 人

[授業概要] 他専攻のデザイン系の授業を受講し, かつ事前指導及び事後指導を受講する。受講する授業については, 事前に担当教員と相談の上決定する。

[目的・目標] デザインに関連する多様な授業を受講し、デザインに関するさまざまな知識を獲得する。

[授業計画・授業内容] 他専攻のデザイン系の授業を受講し, かつ事前指導及び事後指導を受講する。受講する授業については, 事前に担当教員と相談の上決定する。

[キーワード] Design, Cross-Fertilization Program

[評価方法・基準] 各教員による

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T20301901

|                                |             |
|--------------------------------|-------------|
| 授業科目名: 海外大学アライアンスプログラム         |             |
| 科目英訳名: Design Alliance Program |             |
| 担当教員: 各教員                      |             |
| 単位数: 2.0 単位                    | 開講時限等: 通期集中 |
| 授業コード: T20301901               | 講義室:        |

科目区分

2009年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期))

[授業の方法] 講義・演習

[授業概要] 担当教員が指定する海外提携及び連携大学におけるデザインの授業を受講し、かつ事前指導及び事後指導を受講する。

[目的・目標] 海外の大学における授業目標を獲得する。

[授業計画・授業内容] 担当教員が指定する海外提携及び連携大学におけるデザインの授業を受講し、かつ事前指導及び事後指導を受講する。海外提携及び連携大学と授業内容については、事前に担当教員と相談の上決定する。

[キーワード] Design, Alliance Program

[評価方法・基準] 試験・演習プレゼンテーション

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T20302001

|   |                     |
|---|---------------------|
| 授業科目名: デザイン・インターンシップ・プログラム<br>科目英訳名: Design Internship Program<br>担当教員: 渡邊 誠, (福田 収)<br>単位数: 2.0 単位<br>授業コード: T20302001 | 開講時限等: 通期集中<br>講義室: |
|---|---------------------|

#### 科目区分

2009年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期))

[授業の方法] 実習

[授業概要] 夏期休業中を利用し企業のデザイン部門で実習を行う。

[目的・目標] 企業のデザイン部門における実務経験を通じて、実践的なデザイン業務を習得する。

[授業計画・授業内容] 企業におけるデザインの立場を学び、企業の立場からのデザインと、ユーザーの立場からのデザインの両者の視点を習得する。

[キーワード] Internship, OJT, Inhouse Design

[評価方法・基準] インターンシップ先の評価・事前および事後評価

[備考] なおこの授業については事前に授業担当に受講許可を取ること。

T20302101

|  |                     |
|--|---------------------|
| 授業科目名: 産学連携デザイン・プロジェクト・ワーク<br>科目英訳名: Design Project Work<br>担当教員: 各教員<br>単位数: 2.0 単位<br>授業コード: T20302101 | 開講時限等: 通期集中<br>講義室: |
|--|---------------------|

#### 科目区分

2009年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期))

[授業の方法] 実習

[授業概要] 大学における研究成果を、外部提携先(企業や自治体・団体)との連携により実践する。

[目的・目標] 大学における研究成果を、外部提携先(企業や自治体・団体)との連携により実践し、実践的な能力に関する知識を取得する。

[授業計画・授業内容] 大学における研究ノウハウと、提携先の実務ノウハウの共同により、実践的なデザイン・プロジェクト・ワークを大学において行う。なおデザイン・プロジェクト・ワークのテーマについては、プロジェクト・マネージャーとなる教員から提示される。

[キーワード] Design Project, Joint Work, Design Practice

[評価方法・基準] 課題プレゼンテーションの評価

[備考] なおこの授業については事前にプロジェクト・マネージャーに受講許可を取ること。

T20399801

授業科目名：特別演習 I(デザイン科学)

科目英訳名：Advanced Seminar I

担当教員：各教員

単位数：4.0 単位

開講時限等：通期集中

授業コード：T20399801

講義室：

科目区分

2009年入学生：必修科目 S10 (T221:工学研究科デザイン科学コース(前期))

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T20399901

授業科目名：特別研究 I(デザイン科学)

科目英訳名：Graduate Research I

担当教員：各教員

単位数：6.0 単位

開講時限等：通期集中

授業コード：T20399901

講義室：

科目区分

2009年入学生：必修科目 S10 (T221:工学研究科デザイン科学コース(前期))

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T20000101

授業科目名：ベンチャービジネス論

科目英訳名：Venture Business

担当教員：斎藤 恭一, 加納 博文, (澤田 雅男)

単位数：2.0 単位

開講時限等：前期水曜 5 限

授業コード：T20000101

講義室：自然新棟 マルチメディア講義室  
 (「自然新棟 マルチメディア講義室」とは  
 自然科学系総合研究棟 2 号館 2 階の講義室  
 である。)

科目区分

2009年入学生：選択科目 S30 (T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期), T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

[授業の方法] 講義

[受入人数] 100

[受講対象] 自学部他学科生 履修可, 他学部生 履修可, 科目等履修生 履修可

[授業概要] 起業家、投資家、起業コンサルタント、法律・知財関係者を講師に、オムニバス形式で起業とベンチャービジネスの経営の実際について学び、ベンチャービジネス、企業活動への理解を深める。

[目的・目標] 起業家、投資家、起業コンサルタント、法律・知財関係者を講師に、オムニバス形式で起業とベンチャービジネスの経営の実際について学び、ベンチャービジネス、企業活動への理解を深める。

[授業計画・授業内容] 以下のような内容の講義を学内外の講師によるオムニバス形式で行う。

1. ガイダンス (受講者抽選) VBL 加納博文・室清文
2. 「VBLの活動について」 「グラフト重合材料の製品化奮戦記」 VBL 施設長 斎藤恭一
3. 「知的財産権とは - 青色発光ダイオードの特許を例にして」 VBL 施設長 斎藤恭一
4. 「ベンチャービジネスと知的財産権 I」 沢田国際特許事務所 沢田雅男
5. 「ベンチャービジネスと知的財産権 II」 沢田国際特許事務所 沢田雅男
6. 「ベンチャーキャピタリストの役割」 ?未来ネットワーク研究所 佐々岡忠男
7. 「優良ベンチャーの強みと最近の動向」 アッシュインターナショナル Inc. 建入 ひとみ
8. 「キャッシュフロー経営」 沖電気? 関 和彦
9. 「IT 分野の Small Business・スタートアップ、2008 年度版、傾向と対策」 日本インサイトテクノロジー (株) 池和田 暁
10. 「時代のニーズとビジネスチャンス」-環境・エネルギー・食料など- ?光と風の研究所 堀内道 夫
11. 「生き残るベンチャービジネスになるには」 ?アクティブレイインズ平山 喬恵
12. 「千葉大生時代に資本金 0 円で実現させた起業」 NPO 法人 TRYWARP 虎岩 雅明
13. 「バイオベンチャー起業: その夢と実現」 千葉大学名誉教授 五十嵐 一衛
14. 「なのはなコンペ (学生版)」の案内 2008 年度受賞者の紹介 加納 博文・斎藤 恭一
15. 「大学の研究とその実用化」 千葉大学名誉教授 今本 恒雄

[評価方法・基準] レポート、出席、ブログへの書き込みなどを総合して評価する

T20000201

授業科目名: ベンチャービジネスマネジメント

科目英訳名: Venture Business Management

担当教員: 加納 博文, (飯塚 好光)

単位数: 2.0 単位

開講時限等: 後期水曜 5 限

授業コード: T20000201

講義室: (ベンチャービジネスラボラトリー 3 階会議室で行う。)

#### 科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 (T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期), T251:工学研究科建築学コース (後期), T252:工学研究科都市環境システムコース (後期), T261:工学研究科デザイン科学コース (後期), T271:工学研究科機械系コース (後期), T272:工学研究科電気電子系コース (後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース (後期), T281:工学研究科共生応用化学コース (後期))

[授業の方法] 講義・演習

[受入人数] 20

[受講対象] 自学部他学科生 履修可, 他学部生 履修可, 科目等履修生 履修可

[授業概要] 参考にしてください。

資金調達やリスクマネジメント、投資と融資の実際、産官学連携施策、創業支援施策など実際のベンチャーの起業・運営に必要な事柄について講義する。ベンチャービジネスの創成に向けてビジネスプラン・決算書などの作成の実際についてグループ演習で学ぶ。

[目的・目標] 1. ベンチャービジネスの現状と各種の起業支援策について学ぶ。2. 資金調達やビジネスプランの書き方について学ぶ。3. ベンチャーの経営や運営の実際について学ぶ。

[授業計画・授業内容] 以下の内容について講義とグループ演習を併用して授業を行う。

1. ガイダンス・受講者抽選

2. ベンチャ ビジネス概況
3. 新規開業実態状況
4. ベンチャービジネスの会社形態
5. ベンチャービジネスの資金支援
6. 日本のベンチャーキャピタル、投資ファンド
7. 創業・新事業展開等支援施策
8. 産学官連携推策・産業（地域）クラスター
9. ベンチャービジネスの財務諸表
10. ブレーンストーミング & KJ 法
11. 起業戦略とビジネスプラン
12. グループ演習：ベンチャービジネス創成
13. グループ演習：ベンチャービジネス創成
14. グループ演習：ベンチャービジネス創成
15. グループ演習発表会・まとめ

[教科書・参考書] 授業の都度配布プリントにより講義する。参考文献として以下のものを勧めます。1) ベンチャー企業の経営と支援：松田修一監修、日本経済新聞社 2) ベンチャーハンドブック：水野博之監修、日刊工業新聞社 3) アントレプレナーの戦略的思考技術：大江建監訳、ダイヤモンド社 4) 事業計画書の作り方：ネットワークダイナミクスコンサルティング編著

[評価方法・基準] レポート、グループ演習並びにディスカッションへの参加状況、出席状況により総合的に判断する

T20000301

授業科目名：技術者倫理

科目英訳名：

担当教員：(滝口 孝一)

単位数：2.0 単位

授業コード：T20000301

開講時限等：後期金曜 5 限

講義室：自然新棟 マルチメディア講義室

#### 科目区分

2009 年入学生：選択科目 S30 (T211:工学研究科建築学コース(前期), T212:工学研究科都市環境システムコース(前期), T221:工学研究科デザイン科学コース(前期), T231:工学研究科機械系コース(前期), T232:工学研究科電気電子系コース(前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース(前期), T241:工学研究科共生応用化学コース(前期), T251:工学研究科建築学コース(後期), T252:工学研究科都市環境システムコース(後期), T261:工学研究科デザイン科学コース(後期), T271:工学研究科機械系コース(後期), T272:工学研究科電気電子系コース(後期), T273:工学研究科メディカルシステムコース(後期), T281:工学研究科共生応用化学コース(後期))

#### [授業の方法]

[目的・目標] 本講義の目指すところは、各技術分野における倫理課題の実例による議論を通して、企業の倫理的活動にまで理解を有する成熟した技術者の育成に資することである。

#### [授業計画・授業内容]

#### [評価方法・基準]

T20302201

授業科目名：サービス・デザイン論

科目英訳名：

担当教員：(石塚 明彦)

単位数：2.0 単位

授業コード：T20302201

開講時限等：前期木曜 4 限

講義室：

#### 科目区分

2009 年入学生: 選択科目 S30 ( T211:工学研究科建築学コース (前期), T212:工学研究科都市環境システムコース (前期), T221:工学研究科デザイン科学コース (前期), T231:工学研究科機械系コース (前期), T232:工学研究科電気電子系コース (前期), T233:工学研究科メディカルシステムコース (前期), T241:工学研究科共生応用化学コース (前期) )

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T20302301

授業科目名: デザイン・エンジニアリング論  
 科目英訳名:  
 担当教員: (岩政 隆一)  
 単位数: 2.0 単位  
 授業コード: T20302301  
 開講時限等: 後期水曜 4 限  
 講義室:

科目区分

(未登録)

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T20302401

授業科目名: サービス・デザイン演習  
 科目英訳名:  
 担当教員: (石塚 明彦)  
 単位数: 2.0 単位  
 授業コード: T20302401  
 開講時限等: 前期木曜 5 限  
 講義室:

科目区分

(未登録)

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T20302501

授業科目名: デザイン・エンジニアリング演習  
 科目英訳名:  
 担当教員: (岩政 隆一)  
 単位数: 2.0 単位  
 授業コード: T20302501  
 開講時限等: 後期水曜 5 限  
 講義室:

科目区分

(未登録)

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

授業科目名： ヒューマンインタフェース特論  
 科目英訳名： Topics in Human Interface Design  
 担当教員： 岩永 光一  
 単位数： 2.0 単位  
 授業コード： T20302601

開講時限等： 前期月曜 5 限  
 講義室： 工 2 号棟 201 教室

## 科目区分

(未登録)

[授業の方法] 講義・発表

[授業概要] 受講生は、ヒューマンインタフェースのデザインに関連した英文学術論文を精読し、その内容をパワーポイント等のビジュアルエイドを用いて発表する。発表では、受講生間で質疑応答を行うとともに、担当教員が解説を行うことにより理解を深める。

[目的・目標] ヒューマンインタフェースの構築に必要な知識・情報を、広く海外を含めた研究事例を通して修得することを目的とする。また、英文学術論文の読解とその内容に関する質疑応答を行うことにより、研究を遂行する上で必要な理解力と考察力の獲得を目指す。

[授業計画・授業内容] 授業では、担当教員の講義を行った後、受講生による発表と質疑応答を行う。講義および輪講の時間の割り振りは、受講生数に応じて変更する場合がある。

1. 講義：ヒューマンインタフェース研究の現状と展望（1）
2. 講義：ヒューマンインタフェース研究の現状と展望（2）
3. 講義：ヒューマンインタフェース研究の現状と展望（3）
4. 輪講：発表および質疑応答
5. 輪講：発表および質疑応答
6. 輪講：発表および質疑応答
7. 輪講：発表および質疑応答
8. 輪講：発表および質疑応答
9. 輪講：発表および質疑応答
10. 輪講：発表および質疑応答
11. 輪講：発表および質疑応答
12. 輪講：発表および質疑応答
13. 輪講：発表および質疑応答
14. 輪講：発表および質疑応答
15. 輪講：発表および質疑応答

[キーワード] ヒューマンインタフェース、人間特性、人工システム

[教科書・参考書] 担当し発表する英文学術論文は授業の中で指示する。

[評価方法・基準] 発表の内容をレポートとして提出させ、その内容によって評価する。質疑応答への参加状況も考慮する。

授業科目名： サービス・デザイン・ストラテジー  
 科目英訳名：  
 担当教員： (池内 茂彦)  
 単位数： 2.0 単位  
 授業コード： T20302701

開講時限等： 前期金曜 4 限  
 講義室：

## 科目区分

(未登録)

[目的・目標]

[授業計画・授業内容]

[評価方法・基準]

T20302801

授業科目名： デザイン・ソリューション・プランニング  
科目英訳名：  
担当教員： (小畑 貢)  
単位数： 2.0 単位  
開講時限等： 後期火曜 3 限  
授業コード： T20302801  
講義室：

科目区分  
(未登録)

[目的・目標]  
[授業計画・授業内容]  
[評価方法・基準]

T20302901

授業科目名： サービス・デザイン・ストラテジー演習  
科目英訳名：  
担当教員： (池内 茂彦)  
単位数： 2.0 単位  
開講時限等： 前期金曜 5 限  
授業コード： T20302901  
講義室：

科目区分  
(未登録)

[目的・目標]  
[授業計画・授業内容]  
[評価方法・基準]

T20303001

授業科目名： デザイン・ソリューション・プランニング演習  
科目英訳名：  
担当教員： (小畑 貢)  
単位数： 2.0 単位  
開講時限等： 後期火曜 4 限  
授業コード： T20303001  
講義室：

科目区分  
(未登録)

[目的・目標]  
[授業計画・授業内容]  
[評価方法・基準]